

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年7月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年7月度ギャラクシー賞月間賞

鷹を継ぐもの

6月30日放送 21:30~23:00 日本放送協会 テムジン

鷹とともに半世紀生きた一人の鷹匠を追う。鷹匠は鷹を飢餓状態にし、狩猟本能を刺激する。訓練を行う暗室、月山の雪化粧、狩りで飛び散る血……。これらが重厚な映像美で描かれる。ここに弟子入りしたいという少女が現われ、物語は動き出す。テレビ史に残る名作ノンフィクション劇場「老人と鷹」(1962)の続編をみた気がした。

日曜の夜ぐらいは…

4月30日~7月2日放送 22:00~22:54 朝日放送テレビ

健気に生きる個人にスポットを当てたドラマ。ラジオ番組のリスナーバス旅行からドラマが展開した意味合いは大きい。それは、集団ではなく一人ひとりに寄り添うラジオというメディアの特性に符合していた。心温まる、けれど甘すぎないお伽話。最終回、主人公のナレーションによるメッセージが良かった。

プレミアムドラマ「家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった」

5月14日~7月16日放送 22:00~22:50 日本放送協会 NHKエンタープライズ A01 Pro.

次々と家族に降りかかる困難を笑い、小説に書くことで乗り越えていくヒロインを演じる河合優実、ダウン症の弟を演じる吉田葵、早くに亡くなった父を演じる錦戸亮はじめ、キャストがみなナチュラルで素晴らしく、岸田奈美の自伝的エッセーをここまでのドラマに練り上げた大九明子の細やかな脚本と演出に敬意を表したい。

E T V特集「塀の中で手にした“鏡”」

7月21日放送 23:00~24:00 日本放送協会

会えないだけに一層深い受刑者の母性愛。矯正の手がかりをそこに求めた取り組みは大変示唆に富んでいた。絵本の朗読を練習し、ディスクに吹き込んで子どもに聴かせるために工夫し、奮闘する姿に心打たれる。退所してからも辛い人生が待っているが、そんな時にも再犯に手を染めないよう引き留める力をこの貴重な体験は持っているようだ。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年10月号に掲載します